

平成26年度 第5次鯖江市総合計画推進にかかる施策方針

第5次鯖江市総合計画の着実な推進を目的として、平成26年4月に策定した施策方針の取組結果について、次のとおり報告します。

平成27年3月

総務部長 加藤 泰雄

1 総括

- 1 絶対評価・分析評価による人事評価制度、能力・知識・技術の向上を図るための各種研修を実施することにより、最大のサービス業として、市民の目線、生活者の視点に立った行政施策を立案できる人材の育成に努めました。
- 2 北陸新幹線事業については、沿線集落の要望事項について、「北陸新幹線整備連絡会議」や「北陸新幹線整備推進チーム」で対応を検討し、地元へ回答しました。新幹線開業を見据えたまちづくりについては、若手を中心に設置した部会で、視察やワークショップを通して「公共交通を活かしたまちづくり」について検討し、結果を市長ならびに懇話会に報告しました。
- 3 つつじバス運行事業については、バス停の追加や移動、ダイヤ変更を行い利用者の利便性向上を図りました。また累計利用者200万人突破を記念したスタンプラリーや車内写真展を実施し、利用促進活動に取り組みました。
福井鉄道福武線については、沿線市や市民団体と連携し、乗る運動の展開やイベント時の啓発活動等により、利用促進活動に取り組みました。
- 4 消費者被害に遭われる方が少なくなるよう積極的に消費者問題に関する情報を公開し、被害防止の啓発を行い安心して豊かな生活を営むことができるよう取組みました。
- 5 女子高校生や若者、高齢者等、市政への市民参画に新たな層の巻き込みを図ることで、市民主役のまちづくりの更なる拡充と底辺拡大を目指しました。
- 6 町内防犯灯のLED化推進事業や市民まちづくり応援団事業等の実施を通じ、区長会等と連携しながら、自治組織の強化と市民力の向上に取り組みました。
- 7 男女共同参画社会の実現に向けて、ワーク・ライフ・バランスの推進を行うなど、女性の社会参加や男性の意識改革の啓発、浸透に取り組みました。
- 8 交通安全教室やパトロール等を行い、交通安全の啓発に努め、交通事故ゼロに向けた取り組みを行いました。
- 9 福井豪雨から10年の節目を迎え、片上・北中山・河和田地区の3地区同時開催による地区協働型総合防災訓練や防災シンポジウムの実施しました。また、自主防災組織の組織と人づくり推進のため、防災士および防災リーダー養成講座、各町内での出前講座等を開催し、市民・地域・行政が一体となった災害に強いまちづくりに努めました。
- 10 地域の防犯活動を推進するため、女性防犯隊員の加入促進を図り、女性の視点での子どもや高齢者への犯罪未然防止に努めました。また、防犯体制の強化や地域住民協働による防犯パトロールの実施などにより、地域住民の防犯意識の向上を図り、安全安心のまちづくりに努めました。

2 課題

- 1 マイナンバー制度は、社会保障・税制度の効率性、透明性を高めることにより、住民にとって利便性が高く、公平・公正な社会を実現するための社会基盤にすることを指すものですが、住民サービスの最も身近な提供者である自治体で対応を必要とする事務の範囲は幅広く、当該事務に対応する制度、業務、システムも多岐にわたることから、特に、①既存システムの改修、新規システムの整備、②マイナンバー制度に関する条例整備、③個人情報保護対策、④マイナンバー制度の内容や準備状況等についての広報 の4点について着実に取り組んでいく必要があります。
- 2 北陸新幹線事業では、沿線の集落を対象とした設計協議で、地域振興策として対応すべき多岐にわたる要望が出されていますが、集落ごとに支援の内容や規模が異なることから、「北陸新幹線整備連絡会議」において、総体的な対応を検討する必要があります。
また、並行在来線は、本市の交通機関として重要な役割を担うこととなりますので、速達便の運行などの取り組みを提案することで、市民の利便性向上に努める必要があります。
- 3 幹線交通と二次交通のネットワーク化を推進することを目的に、「地域公共交通網形成計画」と「地域公共交通再編実施計画」を平成27年度から2か年にわたり策定し、平成29年度には新たな運行形態での運行を目指していますが、再編計画の策定と運行ダイヤの再編の時期が重なることから、タイトなスケジュールでの調整が必要となります。
- 4 女性の政策決定の場への参画促進に向け、審議会等における女性の参画率向上の取り組みが必要です。

3 重点的に進める項目の取組結果

＜取組項目＞	＜取組結果＞
<p>1-1. 市民から信頼される職員の育成</p> <p>多様な市民ニーズや複雑・高度化する行政課題に、積極的かつ的確に対応していくため、「人事管理」「組織運営」「職員研修」「職場環境」を人材育成の4つの取組みを基本柱として、市民とともに考え、未来を描き、熱意を持って改革・改善に取り組む『市民から信頼される職員』を育成します。</p> <p>特に、「最大のサービス業」であることを自覚し、さまざまな研修機会を通して、前例踏襲や事なかれ主義から脱却し、「市民の目線」「生活者の視点」に立った行政施策を立案し、実践できる創造性の豊かな人材の育成を進めます。</p> <p>◆ 改定人事評価制度の浸透および効果的運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標設定能力向上のための研修実施 全職員研修1回 ・ 業績評価評点数の上昇（全職員平均） 63点/100点（H25：61.5点/100点） ・ 能力態度評価評点数の上昇（ " ） 33点/40点（H25：31.8点/40点） <p>◆ 職場研修の充実・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職場研修指導員研修の実施 1回 ・ 新採用職員・【新】中堅職員の民間派遣研修の実施 各1回 ・ 【新】女性リーダー養成研修の実施 1回 ・ 【新】市民から信頼されるパートナー職員育成研修の実施 1回 <p>◆ 職員の健康管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産業医による職場点検・所属長面談の実施 8回 ・ 衛生委員会の開催 3回 ・ 1人あたりの超過勤務時間の抑制（前年度に対して±0%） 	<p>【成果等】 目標を概ね達成しました。</p> <p>「人事管理」「組織運営」「職員研修」「職場環境」を人材育成の4つの取組みを基本柱として、人事評価制度、職場研修、職員の健康管理事業などに着実に取り組み、『市民から信頼される職員』の育成に努めました。</p> <p>特に、「最大のサービス業」であることを自覚し、中堅職員や女性職員を中心に、市民ニーズに的確に対応するための自信を育む研修に力を注ぎました。</p> <p>◆ 改定人事評価制度の浸透および効果的運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標設定能力向上のための研修実施 全職員研修1回 [A] ・ 業績評価評点数の上昇（※参事級以下職員平均で算出） 64.8点/100点（H25：61.5点/100点） [A] ・ 能力態度評価評点数の上昇（ " ） 31.3点/40点（H25：31.8点/40点） [B] <p>◆ 職場研修の充実・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職場研修指導員研修の実施 1回 [A] ・ 新採用職員・【新】中堅職員の民間派遣研修の実施 新採用職員1回 [A] 中堅職員0回 [C] ・ 【新】女性リーダー養成研修の実施 1回 [A] ・ 【新】市民から信頼されるパートナー職員育成研修の実施 1回 [A] <p>◆ 職員の健康管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産業医による職場点検・所属長面談の実施 10回 [A] ・ 衛生委員会の開催 3回 [A] ・ 1人あたりの超過勤務時間の抑制（前年度に対して-10.26%） [A]
<p>1-2. 市役所窓口における接遇の向上</p> <p>来訪者に親切で丁寧な対応を行い、親近感と安心感を醸成するような市役所窓口を心掛けます。また、来庁された方へ職員対応アンケートを実施し、市民サービスの向上を推進します。</p> <p>◆ 来訪者アンケート 12回 700人</p> <p>◆ 来訪者満足度 90%</p>	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>来訪者に親切で丁寧な対応を行い、親近感と安心感を醸成するような市役所窓口を心掛けました。また、窓口職員の接遇マナー研修を実施し、資質向上に努めました。</p> <p>◆ 来訪者アンケート 12回 700人 [A]</p> <p>◆ 来訪者満足度 90% [A]</p>

<取組項目>	<取組結果>
<p>2. 北陸新幹線の着実な推進</p> <p>北陸新幹線事業については、沿線町内との設計協議が本格的に開始されます。沿線の要望等に対応するため、庁内の「北陸新幹線整備連絡会議」ならびに新たに設置する「北陸新幹線整備推進チーム」で十分協議し、機構、県と住民との関係調整を図ります。</p> <p>また、新幹線開業を見据えたまちづくりについては、開業時に当市の中核を担う若年層の意見を聴取するため、「新幹線開業を見据えたまちづくり懇話会」内に新たに若手市民で構成する部会を設置し、当市のまちづくりを検討します。また、市民協働パイロット事業として指定を受けた「えきライブラリーカフェ（仮称）事業」を早期の運用開始に向けて提案者や関係部署との協議を進めます。</p> <p>◆ 北陸新幹線整備連絡会議 2回 ◆【新】北陸新幹線整備推進チームの設置 6月 ◆ 新幹線開業を見据えたまちづくり懇話会の開催 2回 ◆【新】新幹線開業を見据えたまちづくり懇話会若年層部会の開催 6回 ◆ 市民への広報紙等での情報提供 2回 ◆【新】「えきライブラリーカフェ（仮称）事業」の運用開始 10月</p>	<p>【成果等】 目標を概ね達成しました。</p> <p>北陸新幹線事業については、現在、機構と沿線集落等との設計協議が行われており、集落からは要望書が提出されています。市への要望事項については、「北陸新幹線整備連絡会議」や「北陸新幹線整備推進チーム」を開催し、対応を検討しました。</p> <p>まちづくりについては、「新幹線開業を見据えたまちづくり懇話会部会」を設置し、視察やワークショップを通して、公共交通を活かしたまちづくりについて検討を行い、その結果を市長ならびに懇話会に報告しました。</p> <p>えきライブラリー事業については、施設を12月20日にプレオープン、1月9日にグランドオープンしました。</p> <p>◆ 北陸新幹線整備連絡会議 6回 [A] ◆【新】北陸新幹線整備推進チームの設置 6/30 [A] ◆ 新幹線開業を見据えたまちづくり懇話会 2回 [A] ◆【新】新幹線開業を見据えたまちづくり懇話会若年層部会の開催 10回 [A] ◆ 市民への広報紙等での情報提供 2回 [A] ◆【新】えきライブラリー事業の運用開始 12月20日 [C]</p>
<p>3. 公共交通機関の利用促進</p> <p>「乗ろう、守ろう、みんなのつつじバス」を合言葉に、利用促進を図るためのアンケート調査や啓発活動を実施し、さらなる利便性の向上を図るとともに、福井鉄道や鯖江公共交通振興会と連携し、より一層の利用促進に努めます。</p> <p>また、福武線については、新車両導入効果で伸びた利用者数が一過性のものとならないよう、福井鉄道福武線利用促進鯖江市民会議と沿線市および沿線住民で構成する福井鉄道福武線サポート団体等協議会が連携・協働して利用促進の運動に努めます。</p> <p>◆ つつじバス利用促進 ・年間利用者数 20万人 ・利用促進を図るためのアンケート調査 2回 350人 ◆ 福武線利用促進 ・鯖江市内駅の利用者数 44万人 ・野外活動等支援事業の利用者数 9,000人</p>	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>つつじバスについては、利用者アンケート調査を実施し、次年度のダイヤ改正につなげました。またスタンプラリーや車内写真展を実施したり、福井鉄道や鯖江公共交通振興会と連携した利用促進事業により利用者増加に努めました。</p> <p>福武線については、「福井鉄道福武線利用促進鯖江市民会議」と、沿線市3市の支援団体で構成する「福井鉄道福武線サポート団体等協議会」が連携・協働して、乗る運動の展開や、つつじまつり・もみじまつりでの啓発活動、広報紙の班回覧の実施などの利用促進活動に取り組みました。</p> <p>◆ つつじバス利用促進 ・年間利用者数 19万人 [A] ・利用促進を図るためのアンケート調査 2回 379人 [A] ◆ 福武線利用促進 ・鯖江市内駅の利用者数 44万人 [A] ・野外活動等支援事業の利用者数 9,000人 [A]</p>
<p>4. 消費者相談の機能強化</p> <p>多種多様な消費者トラブルに対応できるよう、研修およびセミナーに積極的に参加し、消費生活相談員のスキル向上を図ります。消費者被害の未然防止、消費者センターの周知のため、市民が多く集まる各種イベント会場において啓発活動に取り組み、消費者意識の普及・向上に努めます。</p> <p>◆ 消費生活相談員研修参加 30回 ◆ 消費者被害防止啓発 12回</p>	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>多種多様な消費者トラブルに対応できるよう、研修およびセミナーに積極的に参加し、消費生活相談員のスキル向上を図りました。消費者被害の未然防止、消費者センターの周知のため、市民が多く集まる各種イベント会場において啓発活動に取り組み、消費者意識の普及・向上に努めました。</p> <p>◆ 消費生活相談員研修参加 44回 [A] ◆ 消費者被害防止啓発 12回 [A]</p>
<p>5. 市民主役のまちづくりの推進</p> <p>市民主役条例推進委員会や地区区長会・公民館・社会教育施設等と連携しながら、若者・高齢者等、新たな層への市民主役意識の醸成を図ります。</p> <p>◆【新】地区住民や高齢者を対象とした市民主役の説明会（ワークショップ） 12回 ◆【新】鯖江まちづくり創造塾（フューチャーセンター・セッション）の開催 3回 ◆【新】鯖江市役所JK課プロジェクトによるまちづくり提案数 5件</p>	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>地区区長会・高年大学等の協力を得ながら、地区住民や高齢者を対象とした市民主役の説明会・ワークショップに取り組みました。</p> <p>また、鯖江まちづくり創造塾を3回開催し、市民の熟議によるまちづくりの喚起を行ったほか、鯖江市役所JK課事業を実施し、女子高校生の視点からのまちづくり提案を受け、その実現を図りました。</p> <p>◆【新】地区住民や高齢者を対象とした市民主役の説明会（ワークショップ） 13回 [A] ◆【新】鯖江まちづくり創造塾（フューチャーセンター・セッション）の開催 3回 [A] ◆【新】鯖江市役所JK課プロジェクトによるまちづくり提案数 6件 [A]</p>

<取組項目>	<取組結果>
<p>6. 自治組織との協働(町内防犯灯LED化の推進)</p> <p>電気料金や維持費の削減と区長業務の負担軽減を図るため、町内が所有する防犯灯のLED化を推進します。</p> <p>◆【新】リース方式に参加する町内数 95%</p>	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>町内防犯灯LED化推進事業に取り組み、工事を完了。参加全町内との協定書締結を完了しました(平成27年4月からリース開始予定)。</p> <p>◆【新】リース方式に参加する町内数 99.3% [A]</p>
<p>7. 男女共同参画社会の実現</p> <p>女性の社会参加や男性の家事・育児参加意識の改革、ワーク・ライフ・バランスを市民とともに推進します。また、市の審議会等への女性の参画率の向上を図ります。</p> <p>◆ 市の審議会等への女性の参画率 35%</p> <p>◆ ワーク・ライフ・バランスをはじめとする男女共同参画に関する学習会の実施 10回 500人</p> <p>◆ 女性人材リスト登録者数 80人</p>	<p>【成果等】 目標を概ね達成しました。</p> <p>男女共同参画推進の各種事業を実施し、男女共同参画の啓発に努めるとともに、市の審議会等への女性参画率の向上を図りました。</p> <p>◆ 市の審議会等への女性の参画率 32.6% [B]</p> <p>◆ ワーク・ライフ・バランスをはじめとする男女共同参画に関する学習会の実施 16回 750人 [A]</p> <p>◆ 女性人材リスト登録者数 77人 [A]</p>
<p>8. 交通安全の推進</p> <p>子どもやお年寄りを交通事故から守るため、早朝・薄暮時パトロールや交通安全教室の充実に努め、交通安全への活動を積極的に推進します。</p> <p>◆ 交通指導員の充足 90%</p> <p>◆ 交通安全教室の開催 165回 14,000人</p> <p>◆ 高齢者の免許証自主返納 75人</p>	<p>【成果等】 目標を概ね達成しました。</p> <p>幼小中および高齢者に交通安全教室を開催するとともに、定例的なパトロール実施、高齢者に対する運転免許自主返納の呼びかけを行い、交通安全活動の推進に取り組みました。</p> <p>◆ 交通指導員の充足 80% [B]</p> <p>◆ 交通安全教室の開催 184回 14,005人 [A]</p> <p>◆ 高齢者の免許証自主返納 90人 [A]</p>
<p>9-1. 自主防災組織の強化</p> <p>自分たちの地域は自分たちで守るという意識の向上を図るため、防災士や防災リーダーを育成するとともに、地域住民における防災訓練を実施することにより自主防災組織の強化を図ります。</p> <p>◆ 自主防災研修会(町内自主防災組織) 1回 参加者数250人</p> <p>◆ 【新】防災士資格取得講座 取得者数 40人</p> <p>◆ 防災リーダー養成講座 修了者数 40人</p> <p>◆ 出前講座 70回</p>	<p>【成果等】 目標を概ね達成しました。</p> <p>災害時における地域の減災と防災力の向上を図るため、防災士および防災リーダー養成講座、町内等での出前講座を実施するとともに、地域住民による町内防災訓練の指導等を実施し、自主防災組織の強化を図りました。</p> <p>◆ 自主防災研修会(町内自主防災組織) 1回 参加者数240人 [A]</p> <p>◆ 【新】防災士資格取得講座 取得者数 60人 [A]</p> <p>◆ 防災リーダー養成講座 修了者数 63人 [A]</p> <p>◆ 出前講座 48回 [C]</p>
<p>9-2. 総合防災訓練の実施</p> <p>自然災害に対する注意の喚起および防災技術の向上を図るため、市民や防災機関との連携により防災総合訓練や水防訓練を実施します。</p> <p>◆ 地区協働型防災訓練【平成26年7月予定】 3地区</p> <p>◆ 水防訓練【平成26年7月予定】 参加者 300人</p> <p>◆ 職員非常参集訓練 職員参加者 400人</p> <p>◆ 職員緊急情報伝達訓練【4回】 (1時間以内返信率) 85%</p>	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>平成16年に発生した福井豪雨から10年が経過し、当時の被災地3地区による「地域住民による」「地域の実情を考慮した」「地域住民のための」総合防災訓練および市民や防災機関との連携による水防訓練を実施した。</p> <p>◆ 地区協働型防災訓練【平成26年7月13日実施】 片上・北中山・河和田地区 3地区 [A]</p> <p>◆ 水防訓練【上記に合わせて実施】 参加者 2,880人 [A]</p> <p>◆ 職員非常参集訓練 職員参加者 433人 [A]</p> <p>◆ 職員緊急情報伝達訓練【4回】 [A] (1時間以内返信率) 81.0% [A]</p>

<取組項目>	<取組結果>
<p>9-3. 減災・防災対策の強化および普及啓発</p> <p>鯖江市地域防災計画の改正に伴い、減災・防災対策の強化を図るとともに、原子力防災ガイドブックを活用し市民に対する原子力防災知識の普及・啓発を行います。また、行政と市民との情報共有を図り、減災・防災意識の向上を図ります。</p> <p>◆【新】原子力防災に関する研修会の開催 参加者数500人（防災リーダー、区長会、消防団等）</p> <p>◆【新】ガバメント2.0市民減災・防災モニター モニター人数 100人（防災リーダー交流会、防災士等）</p> <p>◆ 新システムによる緊急情報一斉配信メールシステム 登録者数 2,000人</p>	<p>【成果等】 目標を概ね達成しました。</p> <p>地域の減災・防災対策の強化を図るとともに、出前講座および各種研修会等において、原子力防災ガイドブック等を活用した市民に対する原子力防災知識の普及・啓発を行いました。また、行政と市民との情報共有を図り、減災・防災意識の向上を図りました。</p> <p>◆【新】原子力防災に関する研修会の開催 [A] 参加者数700人（防災士、防災リーダー、区長会等）</p> <p>◆【新】ガバメント2.0市民減災・防災モニター [A] モニター人数 110人（防災リーダー交流会、防災士）</p> <p>◆ 新システムによる緊急情報一斉配信メールシステム 登録者数 1,814人 [B]</p>
<p>10. 防犯隊の強化</p> <p>地域の防犯隊の積極的な活動を推進するため、防犯隊員の増員を図り、地域住民の防犯意識の高揚に努め、防犯体制の強化を図ります。また、車での青色回転パトロールに加え、新たに徒歩巡回パトロールを実施し、市民の安心安全に努めます。</p> <p>◆ 防犯隊の隊員数 150人</p> <p>◆【新】徒歩巡回による安全安心パトロールの実施 120回</p>	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>地域の防犯隊の積極的な活動を推進するため、女性の視点を取り入れ、女性防犯隊員の加入を促進し、きめ細かな見守り活動を展開し、子供や高齢者の安全確保に努めました。また、車での青色回転パトロールを実施し、市民の安心安全に努めました。</p> <p>◆ 防犯隊の隊員数 148人（内女性13人） [A]</p> <p>◆【新】徒歩巡回による安全安心パトロールの実施 120回 [A]</p>